



まちの温度を測ってみよう 区内のヒートアイランド現象を探る 調査研究員募集中

区では、ヒートアイランド現象を調査する市民ボランティアの調査研究員を募集します。ヒートアイランド現象は、人口が集中する都市部の気温が高くなる現象です。区と首都大学東京が連携して区内の現状を調査します。どうすれば改善するかを一緒に考えてみませんか。

- 調査期間 7月下旬～3月のうち5日程度
朝、夜を含め3回程度の調査と打ち合わせ2回
- 募集人数 区内在住の15人程度
- 第1回打ち合わせ 7月27日(月)午後6時半～ 区役所1階保健ホール
- 実施主体 首都大学東京都市環境学部・高津区役所
事業協力 マルティスープ株式会社
- 申込み・問合せ 区役所企画課 電話861-3131、FAX861-3103



都市部のヒートアイランド現象に代表される地球温暖化に対する取り組みは急務であり、川崎市でも、「ヒートアイランド対策の基本的な考え方」を作成し、様々な取り組みが進められている。また、家庭のレベルでも電球を取り替える、打ち水をする、などの生活の中での取り組みが進んでいる。しかし、行政の取り組みと家庭のレベルの間にある「地域のレベル」において、取り組みが十分に進んでいるとはいえない。個別の建物の改修を通じて、庭の緑を育てることによって、公園や道路を整備することによって地域空間の温熱環境がどのように改善されるのか、その因果関係が明らかになっておらず、地域ベースで取り組むべき対策も明らかになっていない。

そこで、本プロジェクトでは、川崎市高津区の市街地を対象に、都市空間の温熱環境についての調査結果の発表、調査結果をもとにした現地調査、データの集計と分析、温熱環境の因果関係の考察の一連のプロセスを市民と専門家（首都大学東京）が共有することによって、地域空間の温熱環境についての理解を含め、地域ベースで取り組むべき対策を考案することを目的とする。

100年後のたかつのまちのために

●スケジュール案 ※現時点での予定で、参加者との相互討議でスケジュールを確定していきます。

第1回 地域の詳細な温熱環境を知る(夜間想定・約1時間30分)7月27日午後6時半～

首都大が国分寺市で行った調査結果を報告し、地域の詳細な温熱環境にどのような要因があるのか、理解を深める。

- ・国分寺市中部地区の調査結果の発表(30分)
- ・温熱環境の形成要因についての意見交換(15分)
- ・高津区のエリアの地域特性についての意見交換(15分)
- ・第2回の準備(まちあるきルートの決定、グループ分けなど)(30分)

第2回 まちあるきによる温熱環境の形成要因の発見(昼間想定・約4時間)8月5日 or 10日

高津区内の調査を行い、地域の温熱環境の大まかな状況を把握する。全体像をつかむことを目的とするため、ルートを細かく設定せず、グループで歩く。

- ・当日のワークの確認(30分)
- ・高津区地区内を歩き、温熱環境の形成要因を見る(90分)
電子温度計、GPSを携帯し、当日の温熱環境のデータを記録する
- ・帰着後に温熱環境の形成要因の調査結果を地図上にまとめる(60分)
- ・当日の温熱環境のデータの集計と現地調査の結果を対照しながら意見交換(30分)
- ・第3回目以降の企画概要の説明(30分)

第3回 調査結果のまとめと振り返り(夜間想定・約2時間)8月下旬、9月上旬

第2回の結果を加工した地図等を材料にして、温暖化の形成要因について意見を交換する。また、第4回(秋)、第5回(冬)の調査について企画を確定する。

- ・第2回の結果発表(30分)
- ・結果についての意見交換(60分)
- ・秋調査、冬調査の企画の確認(30分)

第4回／5回 秋／冬調査の実施(秋に行くか、2時間、4時間どちらにするかは要検討)

- ・第2回と同様に実施する(4時間)
- ・データ収集のみを行う(2時間)

第6回 調査結果のまとめと地域ベースで取り組む対策(夜間想定・約1時間30分)

- ・調査結果をまとめた地図を配布、内容を確認する(60分)
- ・地域ベースで取り組むべき対策について意見交換を行う(30分)